

# 発達障害が疑われる子どもへの支援の在り方について

— 大学の支援センターでの取り組みを中心に —

鳴海正也

## 1. 2018年度 子育て支援センターの活動について

昨年度まで実施してきた教育相談に加味して、本年度は、ケースによっては、来談者に対しての個別での指導を行ってきた。教育相談業務報告にも記載したように、昨年度までと来訪者の相談内容が明らかに変化し、発達上の課題が多数を占めることになった。そのために、単に来訪者中心療法のための対応では解決できない課題が顕著となってきた。そこで、他の手法での効果を考え、継続的な指導も実施する事とした。

事例は、子育て支援センターで継続的に教育相談と支援している来談者へ指導記録である。

## 2. ケース1の指導記録 ADHD 書字障害の疑い 中学3年生 (14.5歳)

小学校時代から支援を継続し、教育相談として取り組んできた事例であるが義務教育終了年度を意識し、継続的支援を終了することをイメージして、定期的な教育相談と学習指導を行ってきた。アセスメントとトレーニングを兼ねて、WAVESを行った。保護者からの聞き取りやエピソード記録から、指導方向としてビジョントレーニングを行っていくこととした。集中して視覚のテーマに取り組んだ内容を詳しく記録した。(保護者相談は主に教員が行い、スーパーバイズした内容を元に、児童生徒への指導は学生が主に行うことにより実践力を高めていくことも目的とした)

## 3. アセスメントと指導内容

① 日時：2018年5月23日 19:30～20:00

内容：WAVES A線なぞり形なぞり、B数字みくらべI II

結果：A線なぞりでは、右から左に手を動かす方は時間もかからずに正確に進んだ。反対に、左から右に手を動かす場合は左から右はより時間がかかり、線を見てもぐにゃぐにゃと曲がっている傾向になっている。

1) A形なぞりでは、○のミスが7、△のミスが2、□のミスが3という結果になった。図形の隅に引っ掛かり不正確になる頃が多く見られた。書

き方として、左周りに図形を書く傾向にある。細部への注目が図られていない。ADHDから来る不注意に課題があるのか、視覚的に問題があるかは、この時点では不明であった。

2) B数字みくらべでは、ほとんど終了することができた。1と7や6と9のよう形が似ている数字にミスが見られた。前半部に正解が多く見られた。問題数が多くなると「面倒くさい」等のマイナスな言葉が出るがあった。IIの課題に進んだ時に、言葉による指示でうまく理解ができていない所があることが判明した。Iの課題に比べてIIの課題の方が正解率が高い傾向が見られた。

全体を通して、Aの数字の課題よりBの数字みくらべは進んだ。鉛筆の握り方も正しく持つことができていた。知識が豊富などところも見られるが、ネガティブな発言もあるので注意すべきである。

② 日時：2018年5月30日

内容：WAVES C形あわせ、形さがし、形づくり、形みきわめ

結果：形あわせでは、同じ模様を見つけ、○をつけていった。ミスは1つであった。形さがしでは、模様を見て、背面の波線を頭の中で省いて考えることであった。形あわせに比べて頭の中で波線を排除する。形あわせの課題では、回答数が減少した。型さがしの課題では評価点が7と低い。形づくりの課題では、頭の中で、模様を作るという処理をしなければならぬのだが、テスト年齢

で10歳3か月と年齢相応の力がついていないことが分かった。

③ 日時：2018年6月6日 17:40～20:10

内容：WAVES D形おぼえ E形うつし

結果：

1) D形おぼえでは、二つのミスが目立った。一つは、5つ選ぶところを4つしか選ばなかった。もう一つは、左右の違いによるミスであったことから、対象者が持つ不注意の特性が見られた。問題がすべてで1分近く時間を余らせた。見直すことをせずに鉛筆を置いていたことから、丁寧に物事をやることよりは早くやり切るという点に力点があることが分かった。

2) E形うつしでは、同時処理（全体を見て捉える）としていると考えられるマス目があるものに対しては単純な図形においては、正確に書いている。4隅などのポイントやマス目を頼りに書いているのではないかと考えられる。だが、継次処理（順番に追って捉える）としているマス目が無いものに対しては、形が崩れてしまい減点されていることから日常的にも同時処理の方が得意なのではないと類推された。

WAVES全体を通して、改善された点としてセルフコントロールを活用しようとする面が出てきたところがまず挙げられる。「落ち着け 落ち着け」とセルフコントロールをしてミスがあった時にも次に集中できるようにと考えていた。母親の話からも最近母親から指示があっても受け入れたり、「その前に僕の話も聞いて」といった交渉をしたりするようになったということがあがった。また、最初は人間関係や部活動の疲れがあって集中することが出来ておらず目があちこち向いていたりあくびをしていたりしていたが、検査が始まると徐々に集中力が上がっていった。以前より改善された点であった。

今後の学習方法として、迷路のようなものや複雑な漢字に対する支援を考えていることを伝えた。母親からの話では、社会の答案はほとんど平仮名ということや迷路では行き止まりまで行って間違いに気づくことが挙げられた。また、英語の宿題では鏡文字が見られた。小文字のUの右側の線が左側に来たり、大文字のEの横線が反対

を向いていたりしていた。

表1 今回のWAVES検査で分かったこと  
(本来は6歳から12歳が対象の検査である)

下位検査	評価点	テスト年齢
A線なぞり	6	6歳 9か月
	10	12歳 3か月
A形なぞり	13	12歳 10か月
	9	10歳 3か月
B数字みくらべ I	9	11歳 9か月
II	12	12歳 10か月
C形あわせ	9	11歳 9か月
C形さがし	7	10歳 9か月
C形づくり	7	10歳 3か月
C形みきわめ 2	11	12歳 10か月
C形みきわめ 5	10	12歳 3か月
D形おぼえ	10	11歳 9か月
E形うつし	5	8歳 9か月

以下の点が、WAVESの結果から読み取れた。

1) 線なぞりと形うつしが6歳、8歳と低いことが下の評価点の折れ線グラフを見ても分かることである。

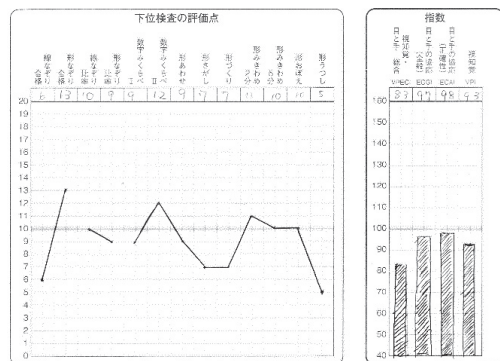


図1 WAVESの下位検査項目

2) 指数別に見ると12歳6か月を下回っている。  
3) 全体の評価点からみて、数字みくらべから目の動きの問題は少なく、線なぞり、形みきわめな

どが高いことから認知能力にも問題が少なそうである。しかし、形さがし、形づくり、形うつしが相対的に低いことから、処理、出力能力に課題ありそうである。総合的な評価として目と手の動き、視知覚の2領域において課題が大きいと考えられる。

④ 日時：2018年6月13日 18:30～19:30

内容：WAVESの検査結果を保護者に報告と教育相談。指導方針として、ビジョントレーニング1（形と位置・方向）1～8と漢字（受験に出る200問）を中心に指導することとした。

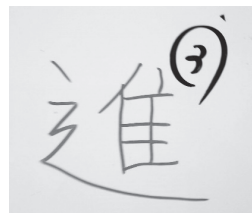
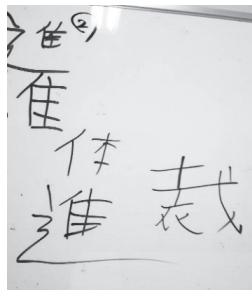
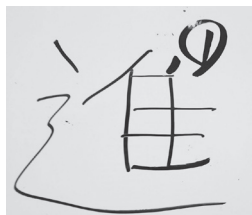
結果 トレーニング1にて、重なっているところを離して書いているところがあり、このことから、視知覚にも課題があると考えられる。だが、漢字指導の時に書き順を指摘すると「分かっている」との発言もあった。このことは、漢字を書く際にどこがくっついているか分からないという点と母親のエピソードからみられる姿とが一致する。また、漢字の練習の際も「裁」「進」という感じで書き順が分からなくて練習を多めに行った。一画一画一緒に書くことで覚えた。また、線の長さや向きも注意することで改善された。

①しんにょうの部分の止めがない。横線もくっついていない。線の長さもバラバラである。

②しんにょうの部分は、①より止めの部分ができた。だが、線が斜めになったり、くっついてしまったりしている。

写真③では、しんによも綺麗にできた。そして、線もくっつかず縦の線もくっつかずに書けた。また、点つなぎでは点を繋がらないといけなが全ての点を通っているわけではない。

端は、止まることが二枚目からできなくなる。そして、線も曲が



りだす。また、違うところから書き出したりらない線があったりする。など多くの課題が見られた。

保護者が誤答に対する指示を出すと反抗する態度が見られ、母子の関係にも課題が見られた。

⑤ 日時：2018年6月20日18:30～19:30

内容：ビジョントレーニング1（形と位置・方向）9～16。漢字（受験に出る）

ドリルでは、慣れや競争意識が強すぎて雑になってしまった。縦線は、下から書く。横線は、右に下がりがちになる。角がずれている。外に膨らみがちである。等の課題が見られた。だが、線が重なる所は前回より見えてきている。

漢字では、「催」を「進」と同じ書き順だと伝えると上手くかけた。また、口の右側の角を作るのが苦手である。「過」や「病」という新しい形の部分があると、上手く書けるが、「乗」という字の書き順は、習得までに時間がかかった。今回は、補助となる点の数を減らしスタートの点と終わりの点、交わる部分だけ印を付けて行ったが、前回の方が書きやすかったとの意見であった。そこで、ドリルをもう一度行った。次は、点を見ながら丁寧さを重視し、書き換えることができないペンで行った。このことにより、緊張感のある状態で集中して行えた。また、目の動き、目の手の協働を練習しているということを伝えるとかなり集中して丁寧に行った。縦線の中で手の動きやすさを考えて書くようにすること伝えると下から上の書き順であったものが、上から下に修正された。また、斜めの線の場合、幅を考えることを伝えると自ら補助点を点と点の間に点に書くことによって改善しようと試みた。

また、宿題を見てみるとaなども上がくっつかない。また、アルファベットのOとゼロの書き方は下の図2のように、右回りに書く。Oは、下から始める。これらのことから、文字をデザインとしてとらえていたことがわかる。

また、保護者の声として、以前は、「風」の中の口の部分が丸くなっていたがホワイト

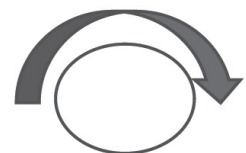


図2 丸の書き方

ボードではしっかり角が取れていることに成長を感じられていた。また、以前は「乗」という漢字の下を模倣して書くことしかできていなかったエピソードが語られた。

風 乗

・角がまるっこくなる

・書き順通りではなく、  
形をなぞるように  
書いてしまう

⑥ 日時：2018年7月4日 18:30～19:30

内容：ビジョントレーニング1（形と位置・方向）  
17～22 漢字（受験に出る）

ビジョントレーニングの形と位置の方向では、台形についてはスムーズに進めることができた。だが、三角形と四角形が重なっている部分では、どちらが前かが正しいか分からず間違ってしまった。

また、点つなぎでは前回の2回目の方が、緊張感があったためか点を線で結んであったし、まっすぐ線も引けていた。終わりまで線が届かないということも無くなり、角が無いことも無くなったと上達が見られる。だが、外の形は上手く書けても中の線になると忘れていたり、どこに何本書けば良いか分からなくなったりすることが課題として挙げられる。さらに、漢字の練習「期」も何本、線を書かないといけないかも分からなくなっていた。細かな書くポイントを忘れる点は、ADHDの不注意からきている可能性がある。プランニングを立ててやると良いことを伝えた。また、小さい図形になると線を増やしてしまうが大きい図形ではそういうミスは無くなった。自ら間違いに気づく場面も多くなった。

漢字の練習では、バランスまで意識するようになった。だが、やはり斜め方向の重なりがある漢字は捉えにくいようであった。

⑦ 日時：2018年7月11日 18:30～19:30

内容：ビジョントレーニング1（形と位置・方向）  
23～30 漢字（受験に出る）

ビジョントレーニング1の点つなぎでは、点と

点で止まれるようになり、幅の間隔も見本と同じようになっている。また、自分でずれていることに気づき修正するようになった。多少丸くなっているところもある。線の交わりがあるところも理解できているようになった。

漢字では、以前より線の向きなど考えて行うようになった。また、点があれば綺麗に書けるようになった。次に、指導する際はバランスや線の長さに注目して指導していきたいと考えている。

⑧ 日時：2018年7月25日 18:30～19:30

内容：ビジョントレーニング2（目と手の運動）  
1～6 漢字（受験に出る）

ビジョントレーニング2では、今回初めてにビジョントレーニング2になり戸惑いがあった。説明をすると理解することが出来た。だが、点線が無くなると初め迷いがあったがもう一度指示するとスムーズにできた。また、自分なりの工夫を考えているように感じられた。だが、迷路などでぶつかるところまで行かないと気づかない時や×と○を判断する前に慌てて手を動かしてしまい間違いがあった。

今回の指導からは、漢字では縦線と横線を増やし漢字のバランスを見ることに重点を置いてノート作成してみた。線が増えたため、スタートと終わりの点を結んで漢字を書く際の難易度が上がってしまい難しいようであった。もう一度方法を考える必要があると感じた。

また、中三ということもあり、数学の学力が上がらないという原状があることが保護者との会話から見えてきた。特に図形であり、公式が覚えられないという相談があった。図形の認知は、視知覚とも大きく関わるものであるから、多方面から検討することが重要だと考えられる。

⑨ 日時：2018年9月5日 18:30～19:30

内容：ビジョントレーニング2（目と手の運動）  
7～12 漢字（受験に出る）

ビジョントレーニング2では、久しぶりということもあり簡単な所では以前より数字の部分と線が被ってしまっている。また、○×数字レースでは最初の文章を読んでいなかったこともあり黒い線を意識しすぎてしまっていた。黒い線の様子が変わると結構戸惑っていて、ミスが一気に増えて

いる。また、ミスを修正する時も通り過ぎて修正している。

漢字では、大分整って書けるようになってきている。どの辺りに間を開けるかなど意識して書くようになった。また、長さの違いも伝えると最後まで気にして書くようになった。今回、字のバランスを注意して書くように指示すると、以前より良くなった。

⑩ 日時：2018年9月19日 18：30～19：30  
内容：ビジョントレーニング2（目と手の運動）  
13～18 漢字（受験に出る）

ビジョントレーニング2では、前回よりスムーズに手が動くようになった。ただ、まだ丸くならない部分と枠とぶつかっている部分があるので、そこを指導していきたい。また、前は途中で集中が続かなかったが、今回は最後まで集中することができ妹より相当早く終わった。

漢字では、ほとんど書き順をミスすることも無くなってきた。だが、頭で理解しているが練習ではできないことが多々あった。また、こちらから指示出さなくてもかなりバランスを見て書くようになり、字形を修正するようになった。ただ、まだ線の数など分からなくなるし、段々雑になってくる点は見られた。

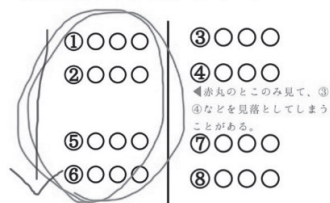
教育相談で本人は、勉強の面では数学と英語に不安がある。数学では、ケアレスミスが多く、符号を間違えたりしている。英語では、スペルと文法が理解しにくいとのことであることを訴えた。

保護者からのエピソードでは、まず〇〇以内で抜き出さないという問題の時に、漢字ではなく平仮名で書くため字数を超えてしまう。そして、英語を書く際アルファベットの間が全部等間隔で書いているので分の区切りが無くなってしまっていることがあったが、現在は改善している。まだ、ピリオドを忘れてしまうこともあった。と言った報告があり、本人から「漢字テストもやってほしい。」という趣旨の発言があった。

⑪ 日時：2018年9月26日 18：15～19：30  
内容：ビジョントレーニング2（目と手の運動）  
19～23 漢字（受験に出る）

今回は、トレーニングに入る前に、丁寧にするように指示して行った。また、始まる時もいつよ

⑤問題を解く際の見落とし  
(現在はどうか分からない)



りも集中していて静かだった。今回は、線と被ることもなく丸くなるころは大分丸くなってきた。でも綺麗に丸みを作るには、あだ、少し難しいようである。いつもより悩む時間も短かった。

漢字では、自分でも大分バランスを見るようになった。そして、今回は、書き順は覚えているけど中々実施するのは難しいと感じていることが分かった。左側が長くなってしまったり、部首との間に隙間が出来てしまったりしている。また、斜めの線が苦手であることがはっきりしてきた。

また、本人も漢字テストを受ける意思があったので次回に実施する事にした。

⑫ 日時：2018年10月10日 18：30～19：30  
内容：ビジョントレーニング2（目と手の運動）  
24～30 漢字（受験に出る）

今回で、ビジョントレーニングが最後であった。丸くなっていない部分が残っている。だが、線と被っている所はない。最初と比べたらかなり上達していることが分かった。

今回、初めて漢字テストを行った。全ての漢字を書くことが出来た。母親も初めて全て埋まったとのことかなり驚かれていた。バランスや雑になっている部分はあるが、その漢字だと認識することができるし、頭でイメージした漢字を形にすることが出来た。

#### 4. 成果

(保護者からの聞き取り)

- 1 落ち着いて学習に取り組むことができるようになった。(心理的な安定)
- 2 少数の人との関係では、恐怖を感じず、柔軟に対応できることが増えた。(人間関係の形成)
- 3 学習面でも成績の伸びが見られた。(500点満点のテストで230点前後だったものが300点を超

えるようになった) 進路の目標が持てるようになった。(学習への意欲の増大)

(学校からの聞き取り)

1 授業中勝手に本を読むことがなくなった。(衝動性の制御)

2 授業中の集中力が50分持つことが多くなった。まだ、教科でのムラはある(集中力の教化)(学校の対応の変容)

1 試験などで個室での受験を合理配慮として実施していただいた。

2 高校受験にあたって個室での受験と前もって下見をさせるなどの配慮が見られた。

### 5. 発達障害の疑い 3歳7か月 ケース研究

田中ビネー知能検査結果

生活年齢(CA) 3歳7か月(43か月)

精神年齢(MA) 3歳 (36か月)

知能指数 83

語彙	○	円を描く	○
短文の復唱	×	反対類推	×
属性による物の指示	×	数概念	○
位置の記憶	×		
数概念(2個)	○		
物の定義	○		
絵の異同弁別	○		
理解(基本的生活習慣)	×		

3歳級 ○合格 ×不合格

査定:合格しているものは具体物を用いて名前を問うものや、数を表すなど端的に答えるものが多い。不合格になっているものは用途を問う、自分で考えて答えなければならないものが増えてきている。視覚的情報や具体物があることで本人が問われていることへの理解が出来ているのではないか。また、自分の気持ちや考えを話すことが出来るように、解りやすい言葉を用いて短い言葉かけが良いのではないかと考える。

4歳級

語彙	×
順序の記憶	×
理解(身体機能)	×
数概念(1対1の対応)	×
長方形の組み合わせ	×
反対類推	×

① 日時:2018年6月20日 16:45~17:30

内容 プレーセラピー

1 車のおもちゃを走らせる。

2 黄色いチェーンをラーメンに見立てて遊ぶ。

3 絵を描くといい、ペンや紙を見るが違う玩具に目がいき、描かなかった。

4 水とビーズなどのキラキラしたものが入ったペットボトルを逆さまにしたりして空気はいることや水の流れに興味を示していた。遊びながら大人と共感ができた。

5 プールの外に出たので、バケツにボールを投げると促すと投げる。

6 母親のそばに行きラーメンに見立てたチェーンを見せる。

7 平均台の上を歩く。

8 ブロックでトーマス、パーシーの線路を作る  
結果:物を使った見立て遊びができる。遊びがよく変化し、一つの遊びを継続することがほとんどない。一番長く遊んだのが4の水の入ったペットボトルであった。大人と一緒に遊ぶことで会話が生まれ、遊びが長くなることがあったが、他の玩具が目に入るとそちらに行ってしまう姿が見られた。大人がバケツにボールを入れるなど手本を見せると、模倣をし、一緒に遊ぶことが出来る。形などよりも色に興味を示す ブランコやトランポリンなど高く、バランスを必要とするものでは遊ばなかった。

母親からの情報:友達と遊んでいるときに肩あたりを触られるのを嫌がることもある。今回触ってみたが反応はなかった。

妹でも子供が自分に近づいてくると嫌がる 友達の手をはじいたりする 大人は比較的平気であるが人との距離感に敏感である。遊びがとびとびで注意が散漫する。こだわりはあまりない。口唇

敏感は無い。ものに興味を示す。

② 日時：2018年6月27日 16：30～17：30

午睡後 機嫌が比較的良い。

内容 田中ビネー3歳級

第34問目を描く 1回目に四角を描く。2回目は少しゆがんだ円を描く。

検査を行っている間、答えが分からない、不安なことがあるときに首をかしげるような動作が多々見られた。三問目が終わるころには周りにある玩具をきょろきょろみて、集中が途切れてしまった。会うことが2回目の大人の側に行き、身体をもたれかかる姿が見られた。

母親からの情報：言語 カタカナ、ひらがな、漢字が読める。例：桃、ジョージア。2歳半の検診で積み木を組み立てるときに飽きてしまい、立ち上がり走ったことで様子をよく見るよう勧められた。

保育園の様子：じっとしているのが苦手で、砂場で砂を流したりして遊ぶ。活動は気分が乗らないと参加しない。先生に「すわってね」と言われると座ってはいるが、我慢してすわっている。片付けをしなければならぬことは理解しているが、友達がいなくなってから行く。片付けを始めても他の事をしてしまい、ほかのことをしているときに片付けを思い出してやり始める。先生はほかの幼児とは時間をずらして活動を行ってくれている。「○○君と遊んだ」という発言をするが、実際に先生に尋ねるとバイクに乗って、同じバイクに乗っている幼児とすれ違っただけとのことで、本人の認識と、周りの認識が違うことがある。運動会では徒競走で不機嫌な顔をしてはいたが、登場の場所に居ることはできた。友達に呼ばれると自分から行くことがある。

読み聞かせは、興味のあるものはみる。他の子どもと同じ床に座ることを嫌がり、椅子に座ることで活動に参加できていた。

他の子どもが並んでいてその列を無視して横入りするが、横入りしている意識はなく、並んでいる間に違うところに行き戻ってきたら周りの友達に非難される。その場合、先生は座ってみんなが行くのをまっぴいようかと声をかけ、本人も納得し、座って待つ。

日常 2歳ごろから人がいることを嫌がる。

例：ヒーローショーに行きたいと言って連れて行ったが人がたくさんいると「あっちいこう」と大勢の人がいることを嫌がる。体操教室で子供が8人程度いるところでは体操は行わず、家に帰って母親と行った。

ブロックや車を使った遊びは比較的長くする。独り言、何か言っていることが多い。ほとんどが意味のないことである。距離感の近い人や、触られることは妹でも嫌がる。

くみくみスロープというおもちゃが好きで、自由に組み立てて遊んだり、ボールを転がしたりして遊ぶ。妹が近づいてくると嫌がる。自分が違うおもちゃで遊んでいても自分のおもちゃに妹が触ると取り上げるが妹のこと自体は頭をなでるなど可愛がっている。

③ 日時：2018年7月4日 16：30～17：30

内容：田中ビネー知能検査 前回3歳児を対象にしたテストはできたため、今回は4歳級を対象にした。

順序の記憶では貨物列車の意味が理解できず、母親のもとへ行く。その後戻ってこなかったので五時半ごろから鳴海が行った。

簡単なルールのある遊び。

輪投げでは、指導者2名と3人で交代ずつ輪投げをする。9色ある床に同じ色の輪をいれていく。自分の順番を待つ際には並んで待つことができる。

自分の番が終わったら前に行ってしまうので、「○○ちゃん（指導者）の後ろだよ」「どこにいればいいかな」というと後ろに行き並ぶが、ときどき指導者を追い越して順番を待たずに輪投げをしてしまう。自分の輪がなくなると違う遊びにいくが「まだあるよ」と声をかけると戻ってくる。

## 遊びの内容と時間

1	大きい絵本を見る	1分2秒
2	小さい絵本を見る (どこにあるかな)	1分2秒
3	絵本 まるくておいしい	34秒
4	ペットボトルに水が入っている もの	2分1秒
5	車とボール	30秒
6	ボールプール	1分40秒
7	車とボール	1分41秒
8	ボールの中で車を走らせる	44秒
9	知能検査の犬とボール	53秒
10	救急車→人→病院	2分17秒
11	人形と人形	1分22秒
12	滑り台	1分27秒
13	積み木	2分30秒
14	人と人 病院	1分55秒
15	上から物を落とす	54秒

母親からの情報：保育参観では列から外れ、もどされ、先生に「だっこして」という状態を示す。じゃんけん列車で前の子の頭を触ってしまったら触られた子が「やめて」といったところ「きゃー」と叫んで怒る。

皆の前に出ていき、自分が答えるところでなくても答えてしまう。先生が説明しているところに行き、先生に「これはこうなんでしょ」と話しに入ってしまう。みんなが絵を描いているときに自分は「終わった」といい、他のところに行ってしまうので「もう少し描いたら？」ときいても「もういい」という。「〇〇しないと〇〇できないよー」というとできたりする。飽きてしまい、自分が帰りたいとゴロゴロ床に寝て「なんでかえらないのー」というときがあった。

絵本の読み聞かせのときにお気に入りのマットがあるので先生が椅子を持ってくると座る。

体操などではほかの子供よりワントンポ遅れていたたり、速くなっているときがある。

10人程度子供がいるところでリズム遊びができた。いつもは母親がやると「やめて」という。トイレに行っておいでと言われたら列があっても

無視していく。

最近人は多いところでルンルンしながらしゃべっている。テレビを見ると、テレビとの距離が非常に近いので、椅子に座らせても気が付いたら近くで見ていることがある。

同世代の子供に注意されたりすると「きー！」と叫んで怒る。

④ 日時：2018年7月11日 16:30～17:30

内容1：輪投げ 輪投げを赤のカラーテープで囲み、外側から輪を投げる。投げ終わったら自分の順番が来るまで2メートルほど離れたところにあるテープで囲んだ直径50センチほどの四角形の中で待つ。

結果：興味が持てなく、指導者が誘い、すこしやってみる。

最初は赤いテープを無視して輪をいれていたが「赤いテープの中にはワニがいるよ」というと直接スポンジの上に赤いテープをまたいで乗る。「そこにもワニいるよ」というと赤のテープの外側から輪投げを行う。指導者と交代ではできなかった。黄色いチェーンをそうめんとみたくて遊んでいた。自分が使っていたおもちゃを妹が触ると自分が使っていないくても、遠くにいても妹から取り上げる。妹が近くに来ると逃げる。

内容2：田中ビネー知能検査 三歳児級

第35問反対類推 不合格 お塩はからい、おさとうはしょっぱい。

お父さんは男ですおかあさんはおおきい。

夏は暑い、冬は無回答 子供は小さい、大人はどちらも回答無しであった。カメラのおもちゃで遊び、片付けがなかなか進まなかった。

⑤ 日時：2018年7月18日 16:00～17:30

内容：田中ビネー知能検査 3歳級

結果：声かけを行い、指で示しながら「ここに緑をおいて」「並べて」指導者がカメラを持ってくると興味を示し、自分もおもちゃのカメラを持ってくる。指導者がおもちゃのカメラで撮ろうとすると母親の横に行きピースをする。くねくねした棒の中に入っている玉を移動して遊ぶ。「青のやつ二つこっちにやって」というと移動させながら「ひとつーふたつー」といい、そのあとも二つ以上3つ、4つ移動させる。「ふたつだよ、1ー2ー」



という続けて「3-4-1」という。その後、棚にあるおもちゃは15秒程度しか遊ばなかった。5時10分に時計の前まで呼んで「長い針が3のところに来たらおかたづけは始めるよ」と教える「いい？」と聞くとうなずく。15分になったので「3になったよ、おかたづけしよう」というがなかなか始めない。かたづけの最中に遊びだすので「3になったからかたづけだよ」という思い出したようなそぶりを見せるが遊びたい気持ちがある。ボールやペットボトルの蓋のマラカスは「多く拾ったほうが勝ちね」とゲーム感覚にするとできた。片付けの際に遊びだした際に「5、4、3」と数を数えたと行った。

母親からの情報：自分のやりたいことが優先でやらないといけなことをしていないのでやるように言う。「いやだ」といい、やらない。きれいなものと汚いものとの区別がつかない。トイレをした後に性器をさわるので「おしっこがついて汚いよ」といってもわからない。おしぼりをコップに入れて遊ぶ。

⑥ 日時：2018年7月25日 16：30～17：30

内容：田中ビネー知能検査 3歳級、4歳級

結果：3歳級第26問小鳥の絵の完成

第30問数概念（2個）合格

積み木「いくつありますか」「ふたつ」

チップ「いくつありますか」「ふたつ」

チップ4つ「この中からふたつおねえちゃんにください」4つつかんで2つをテスターの手のひらに落とす

チップ5つも同様

第33問理解（基本的な生活習慣）不合格

1 のどがかわいたらどうしますか「おちゃをのむ」

2 おしっこがしたくなったらどうしますか「水を流す」

4歳級

第40問数概念（1対1の対応）不合格

指をさしながらKくんから左から13個並んでいるチップを数える→流すように12345678でおわる。今度はK君から見て右側から数えるようにする→テスター側に手をまわし、自分に指先が向くようにしてかぞえた。自分から見た方向と

同じようにした。123までしか数えなかった。

5時10分に時計の前につれていき、おもちゃの時計（5時15分にしているもの）をみせながら「3のところきたらおかたづけするからね」という。けいいちろうくんはうなずく。

言葉の指示よりも具体物がある方が、指示が入りやすいと思われるのでおもちゃの写真を棚に貼った。また、集中し続けることが苦手なので、声掛け、ゲーム形式で片づけを行った。



「おもちゃとおなじ所に入れてね」競争でするとやる気を出していた。あせっておしこむようにおもちゃをしまう。遊びだしたときには「おねえちゃんが勝っちゃうよ」というと再びかたづけをおこなう。本など順番は違っても写真と同じ場所にかたづけすることができた。

前は20分であったが、今回は8分でかたづけられた。

保護者の話

保育園で片づけの音楽が鳴っているとき、先生が「鳴っているよ」というと「鳴っていない！」と言っておもちゃを投げる。その後の活動には参加ができた。何分か前に片づけを伝えるが遊びを中断してまで片づけは行わない。他の子どもが片づけを終わらせてから自分もは始める。

保育園側は診断があれば小学校での支援がなにかあるかもしれない、早く診断をつけてもらい、ひかり園に通っている子どもが保育園に3~4人いるので、指導を受けたほうが良いのではないかと考えている。母親はできれば普通学級に在籍することを希望している。

日常

トイレの水を触る水の流れを触るのが好き。  
お店で集めているゴミを触る、拾い食いをする。  
母親が妹におもちゃをあげてというと母親に渡す。妹が水をこぼしても怒らないが、自分のおもちゃに触られるとおこる。ティッシュちょうだいというところと一枚くれたので、全部ちょうだいというところと全部引き抜いた。自分の枕を使いたがるようになった。等が話されたが診断に関しては今後も継続的に相談していくこととした。また、プレーセラピーを中心にルールやセルフコントロールを学ばせることとし、継続指導を保護者が職場復帰するまで継続した。

(本事例2件は保護者の承諾・了承を受け、記載しています。)

## 6. まとめにかえて

子育て支援センターとして多様な活動があるが、教育相談もその中の大切な一部である。また、ニーズが多い機能でもある。

教育相談には、高い専門性が要求されるが、そのことが相談の対象である子どもに反映されることが必要である。個人情報の保護はもちろんであるが、倫理上の問題もあり、取り組みが難しい内容である。これらの点を踏まえながらも、教員養成学科の学生には事例研究で学ぶ点が多い。

個人情報の保護を大切にしながら、個々のケースへのかかわりを臨床的に行える場所としての子育て支援センターの重要性を再度提起したい。